

平成22年度 小野高校学校評価アンケートの平均値

アンケート実施日 平成22年12月17日

対象と有効回答数 生徒 934名 保護者 907名 教員 51名

解答方法

④あてはまる ③おおむねあてはまる ②あまりあてはまらない ①あてはまらない @わからない

平均値

④を4点、③を3点、②を2点、①を1点、@は除外して算出

a 3.2以上

b 2.5以上

c 1.8以上

d 1.8未満

比較項目		平均値	評価
1	授業に満足している。	生徒 3.0	b
	子供は授業に意欲をもって積極的に参加している。	保護者 3.1	b
	授業研究・授業改善に積極的に取り組んだ。	教員 3.3	a
	授業公開の回数(保護者、管理職の参観等も含む)④4回以上 ③3回 ②2回 ①1回以下	教員 2.8	b
2	授業が理解できている。	生徒 2.8	b
	小野高校では理解できる授業が展開され、授業は学力の向上に役立っている。	保護者 3.1	b
3	少人数の授業は学習効果がある。	生徒 3.0	b
	少人数の授業は理解と学力の向上に役立っている。	保護者 3.2	a
	少人数の授業は学習効果がある。	教員 3.5	a
4	朝の学習や課題の提出は学習習慣の定着に効果がある。	生徒 2.9	b
		教員 3.3	a
5	(2、3年生のみ) 第1志望届は進路決定に役立つ。	生徒 3.1	b
	(2、3年生のみ) 第1志望届は、生徒が進路選択を考える機会となっている。	保護者 3.5	a
	第1志望届は進路指導に役立っている。	教員 3.1	b
6	補習は学習効果がある。	教員 3.1	b
	学力不振者への指導が十分にされている。	教員 2.7	b
	学力・進路に応じた個別指導が十分にされている。	教員 2.9	b
	小野高校では、学力不振者への指導や学力・進路に応じた指導が適切に行われている。	保護者 2.9	b

個別項目

7	平日(月から金)の家庭学習の時間は④4時間以上 ③3時間 ②2時間 ①1時間	生徒 2.5	b
8	学校公開(授業公開・蜻蛉祭・体育大会等)には、よく参加している。	保護者 2.9	b
9	小野高校では生徒に対する進路指導や進路情報の提供が適切である。	保護者 3.2	a
10	小野高校の進路実績に満足できる成果が表れている。	保護者 3.1	b

比較項目

11	部活動を熱心に行い、学習との両立ができている。	生徒 2.6	b
	子供は部活動と学習の両立ができている。	保護者 2.7	b
	部活動が熱心に行われ、学習との両立もできている。	教員 3.0	b
12	マナーアップ運動やあいさつ運動はその目的を達成したと思う。	生徒 2.6	b
	校外においても、挨拶をきちんとしている。	生徒 3.1	b
	マナーアップ運動・あいさつ運動はその目的を達成した。	教員 2.9	b
13	ネット上の人権侵害問題(いじめ問題等)について、講演会や生き方HRを通じ人権意識が高まった。	生徒 3.2	a
	ネット上の人権侵害問題など、小野高校では人権教育が推進されている。	保護者 3.1	b
	ネット上の人権侵害問題についての講演会や生き方HRを通じ、生徒の人権意識が高まったと思う。	教員 2.9	b
14	校外においても、服装容儀はしっかりしている。	生徒 3.4	a
	子供の服装容儀はしっかりしている。	保護者 3.5	a
	生徒の服装容儀はしっかりしている。	教員 2.9	b
15	清掃はきちんとしている。	生徒 3.4	a
	小野高校は清掃がきちんとできている。	保護者 3.6	a
16	家庭で学校や友達のことを良く話し、学校へ行くことが楽しい。	生徒 3.2	a
	家庭で学校や友達のことを良く話し、学校へ行くことが楽しいようだ。	保護者 3.2	a
17	新型インフルエンザ等の緊急時の連絡体制が確立できている。	保護者 3.4	a
		教員 3.0	b
18	(参加者のみ)インターンシップは、キャリア教育の推進に成果があった。	生徒 3.4	a
	インターンシップは、キャリア教育の推進に成果があった。	教員 3.3	a
19	(1年生のみ)保護者を講師とする職業講演会は、役立った。	生徒 3.5	a
	保護者を講師とする職業講演会を実施し、生徒の職業教育に役立った。	教員 3.4	a

個別項目

20	学校の教育活動には、保護者の意見や要望が取り入れられている。	保護者 2.8	b
21	小野高校のホームページは充実している。	保護者 3.2	a
22	国際交流の行事は、その目的を達成した。	教員 2.9	b
23	研修会により、特別支援教育等、教育相談への理解が深まった。	教員 2.6	b
24	危機管理についての職員研修会により、教職員の意識が高まった。	教員 2.9	b
25	学校評価や職員研修会は、学校評価システムの理解に役立った。	教員 2.6	b
26	教員間で意見を交換する場としてグループウェアが役立っている。	教員 1.8	c
27	地元企業と連携し商品開発や地域の課題の調査研究活動は成果があった。	教員 3.5	a